

「会」の広がり、運動への確信・・・900人余の参加者が共有！ 「九条の会」第3回全国交流集会

11月24日、「九条の会」第3回全国交流集会が、都内で開催され、全国の「会」代表926名が参加しました。冒頭、小森事務局長が開会あいさつ、大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝、鶴見俊輔の呼びかけ人4氏があいさつをしました。また、午後からは10の分散会、青年、職場の分科会が開催されました。分散会・分科会では「会」代表が次々と発言、札幌の経営者が作る「グリーン9条の会」の代表は「大風呂敷ではなく唐草模様のグリーンの風呂敷をイメージし頑張りたい」と発言、感動を呼びました。また、大阪のある「会」は高校同窓会を対象に5人→25人→100人→250人と会員を増やしています。「会則無し、代表無し、あるのはお金だけ」という発言には参加者から、うらやましいの声。代表の発言は、イベント主義を改め貧困格差問題を重視し青年の結集を図る等、マンネリを打破



して保守層、青年への接近、小学校区へどう広げるかなど、各地で新たな挑戦が始まっていることを浮き彫りにしました。

12・8緊急シンポ 田母神空幕長問題を糾明する！

- 日時 2008年12月8日（月）午後6時30分～8時30分
 - 主催 安保破棄中央実行委員会・憲法改悪阻止各界連絡会議・日本平和委員会
 - 会場 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働会館 2Fホール
 - 資料代 500円
 - パネリスト ①井上哲士 日本共産党参議院議員
②石山久男 憲法会議代表幹事・歴教協前委員長
- *特別発言 内藤功弁護士 日本平和委員会代表理事